

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 28年 5月16日

計画の名称	14 奥州市民の快適で安全安心な暮らしを支える道づくり									
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）			交付団体	奥州市					
計画の目標	奥州市民の快適で安全安心な暮らしを確保するため、市内の生活に密着した道路の拡幅、補修、橋梁架替等を行う									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な公共施設等への到達時間の短縮率</li> <li>・歩行者等の安全を確保するため新たに歩道等を整備する路線数</li> <li>・道路機能の保全を行う必要のある箇所に対する改善整備率</li> </ul>									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
計画延長に係る現況速度に対する設計速度による走行時間の短縮率 (走行時間短縮率) = ( 1 - (事業後走行時間) / (事業前走行時間) ) × 100				0%	9.7%	14.3%				
計画により新たに歩道整備を予定している路線数				5路線	8路線	11路線				
道路機能の保全を行う必要がある箇所に対する改善整備率 (改善整備率) = (改善整備済延長 / 要改善計画延長) × 100				0%	80.1%	100.0%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,774百万円 <b>3,348百万円</b>	A	3,774百万円 <b>3,348百万円</b>	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価			
○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期		平成28年5月
奥州市都市整備部土木課にて実施	公表の方法		奥州市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
14-A1	街路	一般	奥州市	直接		S街路	改築	久田前田中線	L=0.67km L=0.0km	奥州市						2,445 2,271	
14-A3	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	(他) 田小路斉ノ神線 田小路工区	現道拡幅 L=0.2km 現道拡幅 L=0.2km	奥州市						25 25	
14-A4	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	(2) 松籥線 松籥工区	現道拡幅 L=0.2km 現道拡幅 L=0.2km	奥州市						92 61	
14-A5	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	(他) 栄町横2号線 栄町工区	現道拡幅 L=0.2km 現道拡幅 L=0.2km	奥州市						26 19	
14-A6	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	(他) 荒谷線 荒谷工区	現道拡幅 L=0.2km 現道拡幅 L=0.2km	奥州市						21 19	
14-A7	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	(他) 中島元町線 上樋茂井野工区	現道拡幅 L=0.7km 現道拡幅 L=0.7km	奥州市						77 93	
14-A8	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	(2) 簾森大袋古戸線 駒水工区	現道拡幅 L=0.6km 現道拡幅 L=0.6km	奥州市						87 179	
14-A9	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	(他) 北籥線 北籥工区	現道拡幅 L=0.4km 現道拡幅 L=0.4km	奥州市						53 53	
14-A10	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	(2) 天沢丑転線 西風工区	現道拡幅 L=1.7km 現道拡幅 L=1.7km	奥州市						198 199	
14-A11	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	(他) 小山小十文字石行線 小十文字工区	現道拡幅 L=0.9km 現道拡幅 L=0.8km	奥州市						93 84	
14-A12	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	交安	(1) 北下巾線 扇田工区	歩道整備 L=0.6km 歩道整備 L=0.6km	奥州市						80 80	
14-A20	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	修繕	(1) 福原北上野線外	舗装修繕 L=1.3km 舗装修繕 L=1.3km	奥州市						22 22	

14-A21	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	修繕	(他) 桜ノ木中谷木線外	局部改良 L=0.2km	奥州市							3
									局部改良 L=0.2km								3
14-A22	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	修繕	(他) 広岡葛ノ木線外	舗装修繕 L=0.8km	奥州市							6
									舗装修繕 L=0.8km								11
14-A23	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	修繕	(他) 鶴羽衣西線外	現道舗装 L=3.8km	奥州市							41
									現道拡幅 L=3.8km								41
14-A24	道路	雪寒	奥州市	直接		市町村道	雪寒(機械)	(1) 北下巾線外68路線	除雪機械 除雪トッパ1台	奥州市							23
									除雪機械 除雪トッパ1台								21
14-A25	道路	雪寒	奥州市	直接		市町村道	除雪	(1) 北下巾線外68路線	除雪 L=213.1km	奥州市							66
									除雪 L=213.1km								37
14-A26	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	(他) 垣ノ内林前線 北余目工区	現道拡幅 L=0.3km	奥州市							31
									現道拡幅 L=0.3km								40
14-A27	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	(他) 谷子沢南前川山線 谷子沢工区	舗装新設 L=5.9km	奥州市							250
									舗装新設 L=1.6km								50
14-A28	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	交安	(他) 明土阿部館線 天王谷起工区	歩道整備 L=0.5km	奥州市							60
									歩道整備 L=0.0km								0
14-A33	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	改築	老耳第二線 矢ノ目沢工区	現道拡幅 L=0.4km	奥州市							75
									現道拡幅 L=0.0km								40
合計																3,774	
合計																3,348	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																0

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																0

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
14-C1	橋梁の長寿命化計画の策定(点検)を行い、経済活動の基盤となる道路の橋梁補修を計画的かつ効率的に実施する事により、快適で安全・安心な通行を確保する。	

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な公共施設等への到達時間の短縮率改善を目指した「現道拡幅」事業では、道路拡幅により車両のすれ違いができ安全な走行が確保できることとなり走行環境の改善に寄与した。</li> <li>・道路保全の必要がある路線の改善を進めた「舗装修繕」事業では、クラックや轍ぼれ等の段差解消が図られ安全な走行環境の向上に寄与した。</li> <li>・通学路の歩道整備により、歩行者の安全性が向上した。</li> </ul>						
II 定量的指標の達成状況	計画延長に係る現況速度に対する設計速度による走行時間を14.3%(H26)の短縮を図る。	最終目標値	14.3%	目標値と実績値に差が出た要因	・道路事業により市道の拡幅整備がなされ、供用を早めに開始したことにより目標値を上回った。		
		最終実績値	21.5%				
	新たに歩道を設置する路線を5路線(H22)から11路線(H26)に増加	最終目標値	11路線	目標値と実績値に差が出た要因		・歩道整備路線数については、H25年に防災・安全事業の計画に事業を移行したことにより当初の設定指標をそのまま共通指標としたことから当初設定した目標値を下回っているものである。	
		最終実績値	1路線				
道路機能の保全を行う必要がある箇所に対する改善整備率を100%(H26)を目指す。	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	・予定通り整備の改善を実施できた。			
	最終実績値	100%					
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪寒事業や除雪事業が実施できたことにより、降雪時の走行環境が向上した。</li> </ul>						

## 3. 特記事項(今後の方針等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き事業を継続していくことで、道路施設の老朽化対策や道路拡幅事業により事業効果の発現ができるよう道路の安全性を確保し、市民の快適で安全安心な暮らしを確保していく。</li> </ul>
--

(参考図面) 活力創出基盤整備

